



暫く梅雨明けした日、東の空に久し振りの入道雲を見た。ムクムクと形が変わって行く。台湾の小学生で近道の堤防を一人で帰る時、焦げつくような太陽の下にあの雲が現れた。

覆い被さるように盛り上がり、手を延ばして近付いてくる。早足が駆け足に、夢中で家に飛び込み、ソーツと覗くと未だ手を延ばして来た恐ろしい思い出。

昭和六年生まれの私は、満州事変、支那事変、大東亜戦争と、厳しい戦中の生活をひたすらお国の為と生きて来た。



もくじ

入道雲……………1
 もう一つの家族／短歌・川柳……………2
 人間関係の本質……………3
 長寿園の日々……………4

長寿園理念

「人生の目的は円満幸福の生活にある」との信念に基づき
 高齢者がそれぞれ円満で幸福な生活ができるよう所要の協力と支援を行うことにより社会に貢献します。

【発行所】
一般財団法人 長寿会
 小田原市入生田475
 TEL.0465-24-0002(代)
 発行人／加藤 伸 一
 編集／「夢」編集委員会

入道雲の中から突如現れた艦載機。それから毎日が戦場になった。昼夜整備した滑走路を飛び立った特攻機も翼を振ってあの中に消えて行った。



八十年も前の悲しい辛い思い出。今は総てを吸い取って、やさしく手を差し出してくれるあの雲。

今朝も東の空が明けて来た。戦争を視て来た私は、世界中の人に平和な安息の日が訪れる様、手を合わせるのです。

この山の中の長寿園に来たのは五年前、杉の香りを楽しみ、山の水音に慰められる生活に満足していた主人も逝って三年。一人になった私は、自然に囲まれたホームで「行つてらっしゃい」・「お帰りなさい」と、家族の様に優しい職員さん達、何時も側に居るヘルパーさんに安心して、ようやく安住の地に、終の棲家を得て、幸せな時を過ごしている。



もう一つの家族

ご入居者家族 竹中 泰紀様



両親が長寿園に来たのは一五年前でした。長寿園に住む事にしたのは、私達息子夫婦が行き来し易い場所にしてほしいという希望に沿ってくれたのだと思います。

両親はずっと和歌山に住んでいたもので、遠く離れた、友人もない地に移り住む事にしたのは大変な決断だったと思います。

一〇年程前に父の具合が悪くなり、入院しました。その時、しきりに帰りたいと言っていました。最初は和歌山に帰りたいと言っているのだと思いました

が、そのうち、母がいて面倒を見て下さるスタッフの方がいる長寿園に帰りたいと言っているのだと気付きました。

父が亡くなり、母も最近体調をくずす事も多くなりました。母が入院した時にもやはり長寿園に帰りたいと言っていました。



母にとって、長寿園は、家族の様に接してくれるスタッフの方々と、色々と気にかけてくれる友人達に囲まれた、家族になりました。

皆様これからも母を見守っていて下さい。

短歌

老の園茶道たしなむ人々と一服の茶に心なごめり

鈴木 芳子

故郷の兼六園の冬景色見てゐて寒さに拳をにぎる

逝きし人惚ぶ想いを歌にして友は心のうちにおくらし

小池 怜子

電車内横たわつてる盲導犬仕事の顔のまま降りて行く

田川 富子

団塊の世代を生きて教え子は頼もしい夢いきいき語る

川柳

秋風を手招きしてるススキの穂

青木 千代

月を愛で虫の声聴く至福時

小池 怜子

百歳が六万人という平和

無いならば作って書こう週刊誌

いつの時代も変わらぬ 人間関係の本質

理事長

加藤 伸一



毎年敬老の日前後には長寿関係の記事が多くなります。今年は一〇〇歳以上の人が六万人以上になり、総理大臣からの金杯が予算の関係で銀杯になったという記事が印象的でした。一〇〇歳が珍しくなくなってきました。

現在九〇歳以上の人は大正生まれです。明治四五年すなわち大正元年生まれの人は一〇四歳になります。長寿園六〇年の歴史でご入居者は長い間、明治大正生まれの方々でした。現在は、三分の二の方が昭和生まれです。その時代その時代で考え方や価値観は異なりますが、人間関係の機微は、いつの時代も変わらないような気がします。

さて、同じ昭和生まれでも、戦前生まれと戦後生まれでは社

会教育環境が大きく異なります。

また、同じ戦前でも学童疎開組とそのあとの人ではこれまた大きく異なります。同じ戦争体験でも、学童疎開を通しての戦争と実際に従軍した人やその妻の体験談には雲泥の差があります。私はこの仕事のおかげで、自分では体験できなかったことを歴代のご入居者に聞かされたり教わったりして随分と追体験することができました。おかげで同年齢の(といっても六〇歳前後の人)よりも多くの体験をしたようで、より年上の人との会話に困難を全く感じません。これは非常にありがたいことだと思っております。

ところで、私は明治維新が終わったのは昭和二〇年であったような気がしております。明治

元年から昭和二〇年までは七七年間でした。その間は、明治以来の「殖産興業」「富国強兵」の時代でした。戦後はすでに七一年目になっています。「西欧に追い付け追い越せ」からいつの間にかそうなってしまうのです。しかし、時代が変わっても変わるのとは社会環境や流行であり、人々の根本的な価値観は変わっていないような気がします。したがって、親子関係夫婦関係を含む社会の様々なところで起こる人間関係の問題の原因はほとんど同じところにあるといっても過言ではありません。長寿園のご入居者同志の関係やご家族との関係も同様です。

さらに、いつの時代も「現代の若者は」と年長者は嘆きますがそれは単に年長者がその時代に追い付いていけないからではないでしょうか。その時代の若者は、その親や社会が育てたものであり、その時代の大人の鏡のような気がします。この仕事をしているにつくづくそう思うのです。現代の二〇代の職員でも本当に昔ながらの価値観を持つ

た人はたくさんおります。またそういう人でなければ、高齢者施設、特に「長寿園」では動きません。

社会がどんどん変化しますが、人間の本質は変わっていないと思います。長寿園も時代に合わせ設備や仕組みは変化させてきましたが、その理念を変える必要性は見つかりません。おそらく人間の本質に基づいているからだと思えます。これからも社会は大きく変わっていくと思いますが、ご入居者の円満幸福の生活の継続のために人間関係調整を含めて知恵をしぼっていきたいと思います。

◆ 祝百寿 ◆

ご入居者大下様が一〇〇歳のお祝いに内閣総理大臣からの銀杯と賞状を受け取られました。

おめでとうございます。



長寿園の日々

八月 六日
夏祭り

九月一四日～一九日
敬老週間

九月二五日
コーチャル歌声の部屋

- ・ 作品展
- ・ クラブ活動発表会
- ・ 歌を楽しむ夕べ
- ・ 祝賀式典



作品展



夏祭り



歌を楽しむ夕べ



クラブ活動発表会



祝賀式典 アトラクション



祝賀式典 食事会



祝賀式典

編集後記

夢編集委員会

二五周年活動していた
SMAPの解散、広島カ
ープ二五周年ぶりのリーグ
優勝と、二五周年に縁があ
るようです。皆さんの二五
周年は何かありますでし
ょうか？これからもニコ
ニコ(二五二五)元気に
過ごしていきましょう。



お月見会